



HOTEL VISCHIO OSAKA

建築人

6

2020





大阪ホンマもん

建築人

6
2020

目次

2 大阪ホンマもん

4 インフォメーション・事業案内

5 動静レポート

6 Gallery 建築作品紹介

シオノギ教育研修センターPORT

設計 竹中工務店 施工 竹中工務店

7 記憶の建築 松隈 洋

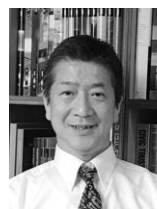
世田谷区民会館・区庁舎 一九五九・六〇年
戦後に育まれた都市の広場の行方

8 第12回建築人賞発表

14 理事会報告 建築相談室から 編集後記

活動の輪を広げよう

副会長 上田 茂久



新型コロナウイルス感染拡大の影響により社会情勢が劇的に変化しています。建築士の活動も、三密を避けるため行動が制限され理事会、部門会議、委員会等の会議は書面開催やWeb会議で行っています。少し長引きそうで見えませんが、一人ひとりができることを着実にやっていくことが、ウィルスを抑えこんだ時に元に戻る一番の近道だと思っています。

建築士の活動は、今まで地震や台風等の災害時に、応急危険度判定や罹災証明判定等で建築技術者として現地に赴き活動を行ってきました。また、日常においても建築相談、耐震診断、マンション大規模修繕、鑑定等で地道に活動を行ってきました。このように活動の根幹をなすものは、委員会活動を通じて会員どうしで交流・親睦を持ち、互いに経験・勉強を積み、建築士としての倫理を身に着けて、それを社会に発信していく社会貢献活動にあります。この活動は、社会に役立つだけでなく、自身の仕事にもプラスとなり、充実した社会生活の基盤をつくります。

一時的には対面での活動は控えなければいけませんが、委員会活動に参加し、活動の輪を広げ、安心して安全な社会を創りましょう。

大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪の近代における貸家の約九割が木造長屋で、市民はその長屋の風景に人の営みを感じとってきた。近年は、若者が長屋の魅力に気付き、面白がって長屋をお店として活用し、その文化を発信しつつある。今回は、都島区にある洋風長屋を取り上げたい。

大阪市都島区の西側には、藤田美術館や料亭の太閤園、毛馬桜ノ宮公園などがあり、まちとして魅力的なエリアとして位置づけられている。その太閤園のすぐ北側にあるのが網島町の洋風長屋だ。建物は高低差のある敷地に計画され、鉄筋コンクリート造の地下一階、木造の地上二階建てで、六軒長屋として昭和七年（一九三二年）に建てられた。ここで使う洋風とは、意匠における模倣のことで、外壁の大壁であったり仕上げ等を指し、それぞれの個性が面白い。

大阪市の長屋住宅は、昭和六三年（一九八八年）に一八万戸以上あったが、都市の不燃化と集積化に伴い、鉄筋コンクリート造や鉄骨造の集合住宅等に置き換わり、平成三〇年（二〇一八年）にはついに五万戸を切った。居住者及び所有者の多くが高齢化し、今後の維持管理に課題が残る。

大阪の長屋の風景はまちの顔とも言える。その表情であるご近所付き合いや、助け合いの精神、鉢植えによる緑化貢献など、庶民の素晴らしい文化が根付いており、都心の長屋では、減少の下げ止まり傾向もあるという。色濃い昭和の懐かしい文化に、若者による新しい大阪長屋文化を再び開花させて頂きたい。

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

新型コロナウイルス感染および拡大防止の観点から、各事業は中止または延期する場合があります。あらかじめご了承ください。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。
不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。
スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご活用ください。

- (業務内容)
- 耐震診断報告書の審査、評価
 - 耐震補強計画案の審査、評価等
- (対象建築物)
- 公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。
- (委員会開催)
- 原則として毎月1回開催
- (会員特典)
- 申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

令和2年度建築士定期講習

7/30、8/7、8/24、9/18、9/29、10/1、10/15、11/4、11/17、11/19、12/16、12/18、12/23 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成29年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

なお、新型コロナウイルスの影響で6月の講座は中止となりました。今後、感染防止対策として定員を減らして下記の日程で開催します。

▼対面講習

日程・会場・定員	
※8/7(金) 大阪国際会議場	440名
※8/24(月) 大阪YMCA会館	120名
9/29(火) 大阪府建築健保会館	55名

※10/1(木) 大阪国際会議場	200名
※10/15(木) 大阪国際会議場	200名
11/4(火) 大阪国際会議場	440名
11/17(水) 大阪府建築健保会館	55名
12/16(水) 大阪国際会議場	200名
※12/18(金) 大阪府建築健保会館	55名
▼DVD講習	
日程・会場・定員	
※7/30(木) 大阪府建築士会	20名
※9/18(金) 大阪府建築士会	20名
※11/19(木) 大阪府建築士会	20名
12/23(水) 大阪府建築士事務所協会	10名
時間 9:15～17:00(各講習日共)	
受講料 12,980円(消費税含。事前振込)	
申込書配布場所	

(平成29年度受講者には、直接申込書を郵送しています。)

大阪府建築士会及び大阪府建築士事務所協会事務局で配布。

建築技術教育普及センターHPからダウンロード

申込方法

上記事務局へ持参又は簡易書留による郵送。

受付場所(送付場所)

- ※印の日程 大阪府建築士会事務局
- ※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。

注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

令和2年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)
7/1、9/4 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。

日程	7月1日(水)、9月4日(金)
時間	8:55～17:00
会場	大阪府建築士会会議室
定員	各回30名(定員に達し次第締切)
受講料	WEB申込み9,500円 郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

建築士の会「大阪市東」地域企画 中央区島之内まち歩きツアー 6/6 CPD3単位

大阪経済の中心地「船場」の南側にあり、大阪財界の支援を受けながら大阪文化を育んだ町

『島之内』。かつては歌舞伎役者や文化人が住み、住友家住宅もあった“粋なまち”の過去を知り、現在を見つめる“まち歩きツアー”です。途中、大阪ミナミで唯一残る“お茶屋”さんでお茶屋建築にも触れていただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。見学会後にワイン醸造所で懇親会を行います(希望者のみ)。

日時 6月6日(土) 14:00～17:00

集合 国立文楽劇場前

13:30より受付開始

定員 40名(定員に達し次第締切)

参加費 会員・ヘリテージマネージャー1,500円
会員外2,000円

第63回建築士会全国大会

広島大会

11/14

今年の建築士会全国大会は、広島で開催します。会員には大会登録料5,000円を補助します。

テーマ 新しい時代へ ものがたりをつなごう

日程 11月14日(土)

会場 広島グリーンアリーナ

※全国建築士フォーラム、第11回まちづくり賞発表会&公開選考会、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会は11月13日(金)に実施。

※地域交流見学会(エクスカーション)は11月15日(日)に実施。

申込 建築士5月号P33の参加申込書に必要事項をご記入の上、本会事務局に7月31日(金)までに提出下さい。

※大会の詳細は「建築士5月号」をご覧ください。

Administration

行政からのお知らせ

大阪府福祉のまちづくり条例が改正されました。

ホテル等のバリアフリー化に関する下記の規定の改正を行いました。

- ①一般客室におけるバリアフリー化の促進
- ②車椅子使用者用客室の更なるバリアフリー化
- ③バリアフリー情報の公表

詳細は大阪府HPで「おおさかのあたりまえ」を検索、そのページ内のTopics「大阪府福祉のまちづくり条例・規則を改正しました!」をご覧ください。

担当 大阪府住宅まちづくり部建築指導室

建築企画課

福祉のまちづくり推進グループ

Tel.06-6941-0351 内4331・4332

関西学院周辺景観地区の指定及び施行について(西宮市)

緑豊かでゆとりある閑静な住宅地を保全、育成していくため兵庫県西宮市の関西学院上ヶ原キャンパス周辺を都市計画の地域地区のひとつである景観地区に指定しました。令和2年6月1日より、建築物の新築、増築、改築、移設、外壁の塗り替え等や工作物の新設、開発行為等を行う場合は申請が必要となります。

詳細については、下記URLを参照下さい。

<https://www.nishi.or.jp/kotsu/keikan/keikanchiku/keikantiku.html>

問合 西宮市政策局都市計画部

都市デザイン課

地区まちづくり支援チーム

Tel.0798-35-3688

Others

その他のお知らせ

沖縄慰霊の日を考える戦争遺構の幻燈上映会 6/20

沖縄に残されている戦争遺構をスライドで見ながら平和と戦争について語り合いたいと思います。

日時 6月20日(土) 11:00～

会場 堺市立東図書館

南海高野線北野田駅前アミナス4階

講師 柴田正己

問合 Tel.090-4289-1492

会長動静

- 4/27 連合会総務企画委員会(WEB会議)
- 5/12 大阪府収用委員会
- 5/15 正副会長会議
- 5/20 定時総会
- 5/22 連合会総務企画委員会(WEB会議)

* 連合会: 日本建築士会連合会

運営部門

令和2年度定時総会の開催



岡本会長

5月20日に定時総会を開催し、総正会員数2,469名に対して1/3以上となる978名(うち委任状917名)の出席で定款第17条に照らして成立しました。

◇会長所信

会長は、ICT社会に適応した建築士会を目指し、委員会の会議方法や講習システム及び事務局業務等の電子改革を進め、また全会員のメールアドレスによる情報提供の方式を構築することなどを推進し、会員の利益の増進を図ることを表明されました。

◇第1号議案(令和元年度事業報告)

本会が令和元年度に実施した公益目的事業、収益事業、その他事業について、運営・研修・事業・建築表彰・建築情報・社会貢献の6つの常設部門別に活動内容を報告し、承認されました。

◇第2号議案(令和元年度財務報告)

令和元年度の収支決算は、会費収入及び登録閲覧事務、定期講習、建築物耐震評価業務、国庫補助事業などの事業収支が堅調に推移したことにより、当初予算に対して約118万円の黒字になりました。令和元年度の正味財産期末残高は51,894,306円を報告して承認されました。さらに、公益法人の運営条件として、法律で定められた下記の3つの条件の全てを満たしており、健全な財務運営がなされていることを報告しました

- ①公益目的事業比率が50%以上(令和

元年度は86%)

- ②公益目的事業の各収支が全てマイナス

- ③公益目的事業収支に収益事業収支の50%を加えてもマイナス

◇第3号議案(令和2年度役員選任)

理事・監事候補者選考委員会から推薦され、理事会で承認された理事候補者23名、監事候補者1名が総会において選任され、令和2年度の役員構成は理事46名、監事2名となりました。

なお、総会に伴う式典・講演会・懇親会は、新型コロナウイルス感染防止対策により中止しました。



総会では出席者の離間距離を確保して実施

運営部門

岡本森廣会長が旭日小綬章の叙勲を受章

本会会長の岡本森廣氏(株全日本コンサルタント)が4月29日に旭日小綬章の叙勲を受章されました。

氏は45年以上に亘り建築設計業務に精励するとともに、昭和50年に本会に入会され、昭和63年に理事、平成17年に副会長、平成24年に会長に就任し、長きに亘り本会を通して建築社会の発展に尽力されています。

会長就任後は、公益社団法人への移行をはじめ、建築物の耐震化促進業務、被災建築物応急危険度判定支援、歴史的建造物の保全・活用のヘリテージ活動等の社会貢献活動にも力を注ぎ、府内43市町村の首長等と毎年面談して行政との連携の強化を図られています。

また、平成26年から日本建築士会連合会の副会長および2府4県の建築士会で構成する近畿建築士会協議会の代表会長を務められています。

運営部門

上田茂久副会長が黄綬褒章を受章

本会副会長の上田茂久氏(株上田茂久・

建築設計工房)が4月29日に、黄綬褒章を受章されました。

氏は40年に亘り建築設計業務に精励するとともに、昭和61年に本会に入会され、平成7年の理事就任時に発生した阪神・淡路大震災では、本会建築士の応急危険度判定活動を中心に牽引されました。平成12年には総務委員長に就き、委員会等の統合などの機構改組による運営形態のスリム化を実現し、平成18年の副会長就任後は、団体運営を担う運営執行部の重責にあって、適確な指導により本会の発展に尽力されています。

運営部門

令和2年建築士試験の申込状況

令和2年建築士試験の受験申込の受付を4月20日に締め切りました。今年は新型コロナウイルス感染防止のため、本会事務局における対面受付が中止となり、東京の建築技術教育普及センター本部が行う郵送又はインターネットによる受付のみとなり、受験申込者数は下記の通りです。また、今年から受験時の実務経験が不要となり、実務経験は試験の前後に関わらず、試験合格後の免許登録時までに積んでいけばよいことになりました。一級建築士学科試験の受験者数が昨年よりも全国で7,000人強増加している原因は、その影響と思われますが、二級建築士学科試験の受験者数は減少しております。

◇一級建築士試験受験申込者数(人)

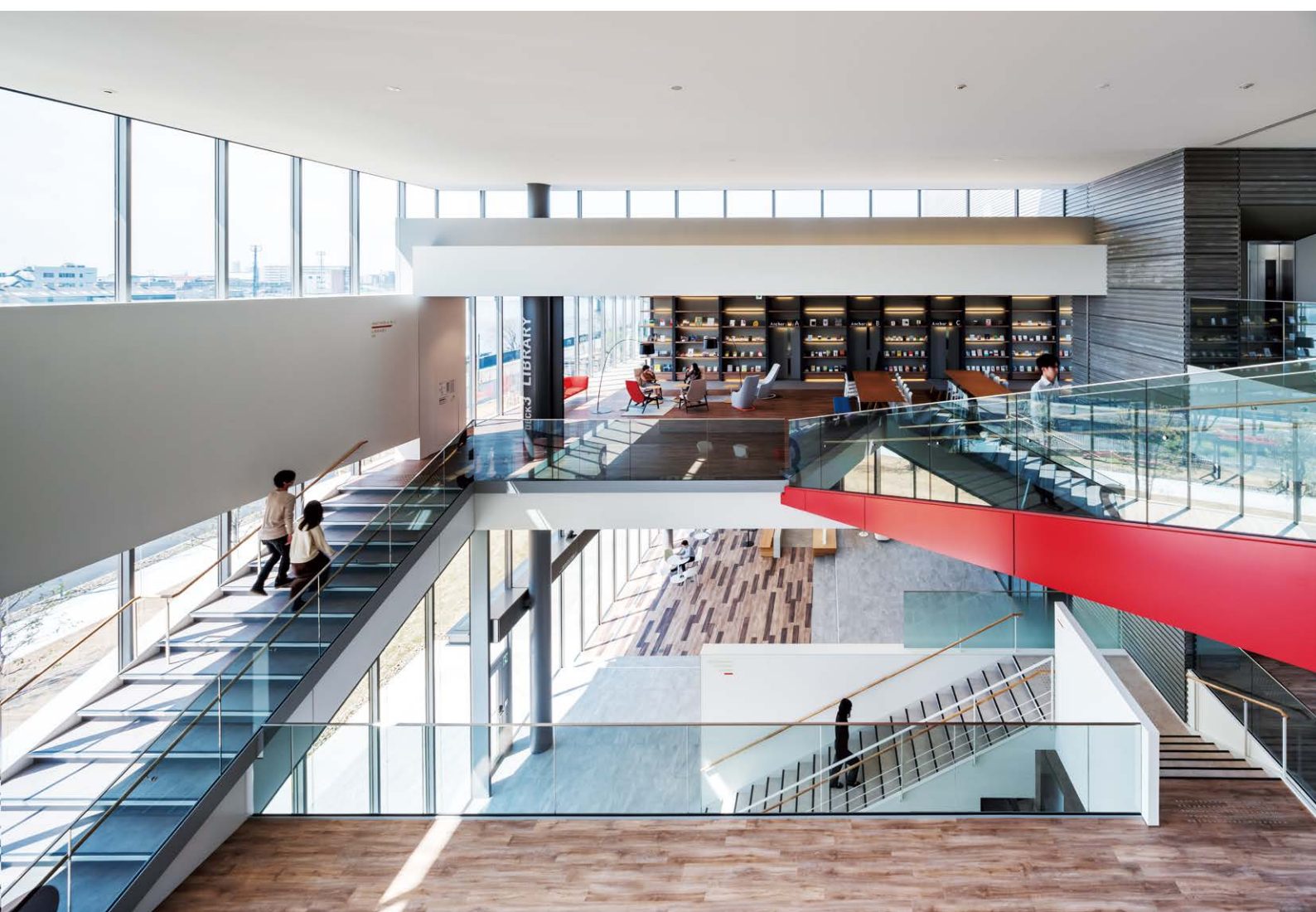
	学科 7/12 製図 10/11		昨年比較	
	学科	製図	学科	製図
大阪	3,361	477	+724	+70
全国	40,219	5,647	+7,287	+812

◇二級建築士試験受験申込者数(人)

	学科 7/5 製図 9/13		昨年比較	
	学科	製図	学科	製図
大阪	1,756	426	-125	+105
全国	22,590	5,113	-1,351	+1,019

◇木造建築士試験受験申込者数(人)

	学科 7/12 製図 10/11		昨年比較	
	学科	製図	学科	製図
大阪	90	4	+9	-1
全国	685	77	-2	+11



社員のキャリア開発と人材交流を促進して、共有意識や使命感を高める企業力向上型の研修施設である。多種多様な人材が乗り込み、ともに困難を乗り越え、世界を切り開いていくこの建築を、神崎川に浮かぶ「シオノギファミリーの方舟」に見立て、人と組織の成長を好循環させることを目指した。豊かな外構を開んだL型分棟配置とし、学ぶところと住まうところを分け、自然とモードチェンジができるように配慮した。研修棟は人が集まる一体感だけではなく、適度な距離感のある大らかな空間構成とし、宿泊棟は長期滞在者でも健康的で落ち着いた個々の環境が得られるようにスケールを抑えた空間構成とした。

所在地：兵庫県尼崎市
用途：研修所・寄宿舎
竣工：2019.11
構造規模：S造3階・RC造4階
敷地面積：11,809.19㎡
建築面積：2,742.80㎡
延床面積：6,787.23㎡
写真：平井広行

もうこれで見納めになるのだろうか。今年の二月下旬、前川國男の戦後の代表作の一つである東京の世田谷区民会館・区庁舎を久方ぶりに訪ねた。続く三月に発表された「世田谷区本庁舎整備実施設計概要」によれば、二〇二〇年度中に工事施工者を決定し、解体工事に着手する予定だという。しかし、最新の区公報の情報によれば、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急対応で、施工者選定のための入札公告は見送られ、その行方が注目される事態になっている。実は、解体工事に先立ち、区民会館で六〇年営業を続けてきたレストラン「けやき」の三月末閉店を知り、その姿も見届けたいと思い立ち、立ち寄ったのである。

渋谷駅から東急田園都市線に乗りして五分、三軒茶屋で降り、住宅街の中を二両編成で走る路面電車の世田谷線に乗り換えて、五分で松陰神社前に到着する。駅前の小さな商店街と住宅街を抜けると視界が開け、櫛並木の向こうに水平の大庇を持つ区民会館と奥の公会堂、右手に五階建ての区庁舎からなる一群の建物が見えてくる。冬枯れの櫛並木は寒々しく、建物も必ずしも健全な状態に保たれてきたとは言えず、あちこちに傷みが見られたものの、都内では珍しい低層の区庁舎と公会堂が中庭を囲む落ち着いたたたずまいとコンクリート打放しの力強い表情は変わらぬにそこにあった。

区民会館と区庁舎が一体となったこの建物は、一九五七年に都内の区としては初の指名コンペで建設された。指名されたのは、日建設計、佐藤武夫、山下寿郎、前川國男の四者であり、建築関係の審査員は、今井兼次、岸田日出刀、武藤清、谷口吉郎が務めた。求められたのは、約一三〇〇席の公会堂、集会室・図書館・結婚式場・食堂等

からなる区民会館と区庁舎である。審査の結果、前川案が選ばれ、二期にわたって建設された。それから六〇年が経つ。

その間、保存活用が解体新築かをめぐる幅広い議論が十五年以上も続けられてきた。背景には、この建物の落ち着いたたたずまいと、住宅地に溶け込む好ましいスケール感によって育まれてきた風景への愛着があったのだと思う。こうして、日本建築家協会世田谷地域会と市民有志によって、作家の林望や映画監督の篠田正浩らを交えた

記憶の建築 松隈 洋

世田谷区民会館・区庁舎 1959・60年
戦後に育まれた都市の広場の行方



中庭から見る区庁舎（左）と区民会館



区庁舎中央の玄関ホール。壁画デザインは大沢昌助。

し、残る区民会館と区庁舎の八割をすべて取り壊し、現在の約三倍の規模となる延床面積約三万九千㎡、地上一〇階、高さ約四五mの新庁舎を建設する決定を下したのである。おそらく、住宅街の閑静な環境には過剰な今回の改築によって、程よい建物のスケール感は失われ、中庭の雰囲気も損なわれてしまうだろう。良い方向に計画は修正できないものだろうか。前川の下で設計チーフを務めた鬼頭梓（一九二六―二〇〇八年）が竣工時に記した次の文章に、この

建物に込められた思いが読み取れる。

「親しみやすい空間を創りたい。ちょうど

四年前、はじめてこの設計に手をつけた時、最初に思ったことであった。（中略）大きなもの、立派なもの、美しいもの、それらは私たち建築家が誰でも求めてやまないものだ。だが、それらが権力の象徴であったことも忘れることはできない。大きいこと、立派なこと、美しいことが悪いのではないことはいうまでもない。問題はもっと

異なった側面にある。それは、誰のための建物か」という点から出発する。（中略）建築は必ずその外にも内にも空間を創り出す。大切なことは建築そのものではなくて、この空間だということ。建築は空間を創るためにあるのだということ。そして、空間は人間のためにあるのだということ。その人間こそ私たちであり、市民であり、民衆であるのだということ。（『平地計画のことなど』『建築文化』一九六一年五月号）

続いて、鬼頭は、この建物の設計方法について、次のように記したのである。

「前面道路から裏側の道路まで連なる広場、その中途におかれたピロティーの右に庁舎、左に区民会館の入口という配置は、いわば、道路に囲まれた広場の一隅にホワイエ、一隅に役所のカウンターをおくといった気持だった。（中略）道路がひろがり、ふくれあがり、のびていつて広場となり、また道路へと連なっていく。二つの建物とピロティーによってつくりられ、櫛と灌木に囲まれ、ベンチのおかれたその広場を、人々は通り抜け、吹き溜りのようにあちこちに溜り、子供は遊びまわる。区役所や区民会館に来る人たちと、直接関係のないこんなことが、いかにも大切なことにおもえてくるのである。」

何も付け加えることはない。身近な生活環境を見直そうとする意識も高まりつつある中で、今一度、この戦後に育まれた都市の広場の価値が見直されてほしい。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授。博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

第12回 建築人賞 発表

主催：公益社団法人 大阪府建築士会

審査総評

建築人賞審査委員長 乾 久美子

1969年 大阪府生まれ
1992年 東京藝術大学美術学部建築科卒業
1996年 イェール大学大学院建築学部修了
1996～2000年 青木淳建築計画事務所勤務
2000年 乾久美子建築設計事務所設立
2000～2001年 東京藝術大学美術学部建築科常勤助手
2011～2016年 東京藝術大学美術学部建築科准教授
2016年～ 横浜国立大学大学院Y-GSA教授



審査委員長 乾 久美子

去年に引き続き、審査をさせていただき
ました。今年は、現地を拝見する予定で審
査がはじまりましたが、残念ながら、コロ
ナウイルスの感染拡大防止の観点から直前
にキャンセルとなりました。設計者、お施
主様、士会の事務局の方々には現地審査の
日程調整のご面倒だけをおかけする結果に
なりましたが、ご協力いただいたことに感
謝いたします。ありがとうございました。
さて、今年も建築人の紙面から気になる
作品をピックアップし、紙面だけでは読み
取りにくい情報を、追加資料としてA4の
ファイルにまとめて提出いただきました。
一般部門は去年と同様に、実力派の組織設
計・ゼネコン設計部の作品に圧倒的な迫力
がありました。しかし、最終的に建築人賞
として選定させていただいたのは、子供た
ちのための小さな空間でした。
規模もプログラムも違う作品を比較する
のは難しいものです。多様な規模のプロジェ
クトを一堂に並べて比較すると、単純なも
ののほうが好ましく感じ、巨大なプロジェ
クトがむしろ不利になる傾向があるかもしれ
ません。パッとわかる楽しさがあるから

でしょうか。こうしたものは一種のバイア
スであるとも考えられるので、選定の際に
注意をしたつもりですが、結果として予算
規模が比較的小さいこどもの施設を選定す
ることになりました。子供達のための極小
の空間が単純さがかえって目立ったという
こともありましたが、子供の空間が根源的な
ものと結びついていると感じられたからで
す。そこに生き生きとした建築のはじまり
のようなものが現れていると思いました。
住宅部門は、穏やかで着実な作品が多い
と感じました。また、地形とともに育まれ
た豊かな住環境に位置する作品や、古墳が
目の前といった作品があり、関西圏らしい
文化の厚みを感じ、興味深く拝見させてい
ただきました。

去年と同様に気になったのは、若い作家
の応募が少ないことです。関西圏は若手の
作家がとて多いエリアだと思います。若
い作家の作品の面白さは、設計もさること
ながら敷地や設計の与件です。かつての工
業地帯など、これまで建築家の作品がな
かったような文脈の場所に、おもしろい住
宅や作品が出来てきています。そうしたも
のも掲載されると、紙面がよりいっそう活
気にあふれ、大阪や関西の意味や可能性を
議論できる場として、生きていくのではな

いかと思います。

また、紙面にプランが掲載されるとより
よいと思っています。子供の頃、実家で定
期購読していた週刊新潮の最後のページに
「マイプライバシー」という連載があつて、
毎週それを眺めることを楽しみにしていま
した。B5判の紙面でしたがプランも掲載
されていたのを覚えています。とても小さ
なプランでしたが、建築の形を把握するに
は十分でした。建築士の良心や苦勞、知見
は表層だけではなく、深層に堆積してい
ると思います。プランは、それを知る重要な
手がかりの一つだと思っていますので、今
後の検討を期待します。



建築人賞記念盾「未来へ！」
ガラスアーティスト 三浦啓子作

建築人賞 ふじしろ幼稚園



建築人2019年8月号掲載

設計／アバクス・アーキテクツ
施工／越智工務店

建築位置／大阪府吹田市
竣工年月／2019年3月
構造設計／明興コンサルタンツ
沼田明樹
用途／幼稚園
構造・規模／混構造 地上2階
敷地面積／6,545.01㎡
建築面積／352.75㎡
延床面積／369.39㎡
写真／笹倉洋平



【選評】
既存園舎の耐震改修と、それに伴う外構の整備が印象的なプロジェクトで、今回、審査させていただいた作品の中で、最も見に行ってみたかったと感じたものでした。道路側の法面が豊かな緑の空間であるにもかかわらず活用されていないことに着目し、子供たちのアスレチックスペースへと転用しています。高低差を利用することで、多様な空間やシーケンスが展開されており、子供たちにとってかけがえのない存在になっているように見えます。ツリーハウスは木の上に限られた面積でしかつくることができませんが、こうした方法であれば、人が使える場所が木々の中におおらかに展開できるのと気付かされました。最近の公園では、遊ぶことだけ、身体を動かすことだけに特化した遊具が目につき、それでいいのかしらと思うことがあります。遊具は、時に居場所として、子供達の空間の経験を豊かに引き延ばすものでもあるべきだからです。そうした中で、この遊具は子供たちが最初に出会う「建築」になっているのではないかと、「建築のよろこびを感じる」というかけがえのない学び」がここで達成されているのではないかと、そんなことを感じさせる作品でした。

建築人賞 農人町の町家



建築人2019年1月号掲載

設計監理／大西憲司設計工房
施工／アトリエ・エイト

構造監理／天野一級建築構造設計事務所
建築位置／兵庫県姫路市
竣工年月／2018年11月
用途／専用住宅
構造・規模／木造（在来工法）
地上2階
敷地面積／175.77㎡
建築面積／85.17㎡
延床面積／127.49㎡
写真／福澤昭嘉

【選評】
町家のタイポロジーを継承することで、細長い敷地が生き生きとした物語とともに使い切られているように感じました。客間の独立性、中庭、外のような通り土間、メインスペース、奥庭に接続する風呂というように、特徴のある空間がリズムミカルに展開しているように思います。また、多様な素材を使いながら、和風の落ち着いたある雰囲気を得ているように感じられました。中でもメインのダイニングの上空にある、宙に浮いた書斎が非常に楽しそうです。現代の住宅で難しい問題のひとつは駐車場だと思いますが、町家の形式性の中に、駐車場を盛り込むことはできたのかもしれないと。それだけが唯一、気になる点でした。



建築人賞奨励賞 兵庫県林業会館



【選評】近年の、木材による高層化の試みには目覚ましいものがあります。本プロジェクトはその一つであり、特にCLTを利用するという点でも目を引きました。木造高層化の大きなハードルである耐火に対する要求に対して、水平力のみを負担させることで被覆の要件をはずすという解法で応えています。適材適所、無理をしない木質化の一例として、普及する可能性を感じました。特にCLTという、どちらかというと高強度ではない材の利用としても、合理性を感じます。また単に材を利用したというだけでなく、仕上げるに利用される繊細な木の質感ではなく、どちらかというとラフな感じがする木の表情が、オフィスビルのインテリアとしてでてくることも新鮮さを感じました。

設計／竹中工務店
施工／竹中工務店・大和ハウス工業 JV

建築位置／兵庫県神戸市
竣工年月／2019年1月
用途／事務所
構造・規模／CLT+S造・RC造
5階
敷地面積／355.24㎡
建築面積／310.49㎡
延床面積／1,567.10㎡
写真／母倉知樹

建築人賞奨励賞 四畳半キューブの家



【選評】キッチンや風呂、ダイニングなどの機能を、一律的に四畳半のキューブとする提案です。家の機能性を十分に担保しながらも、慣習的な家の構成を解体しながら、箱と路地のあつまりへと更新しようとしており、意欲的な作品だと思いました。こうして家らしさが更新されたあとにでてくる、新しい家の姿とはどういう使用方と共にあるのか、もうすこしすみこなされた状態でみてみたいと思いました。図面にあるように、「広場」は広場として使われるのか？、誰によつて？など、お施主様の動きとセットで、今後の成長に期待がもてる住宅だと思いました。

設計／HAMADA DESIGN
施工／ジェイプランニング

建築位置／大阪府寝屋川市
竣工年月／2018年6月
用途／専用住宅
構造・規模／RC造+鉄骨造+木造
2階建
敷地面積／211.24㎡
建築面積／104.76㎡
延床面積／89.43㎡
写真／笹倉洋平

建築人賞佳作 大谷さやまこども園



【選評】既存地形をいかした豊かな園庭や外部空間に特に魅力を感じた作品です。空間として、子供達の遊びを誘発させるだけでなく、外廊下や靴脱ぎ場などの外部スペースとして、こどもの施設に求められる機能がゆつたりとしたスペースとともに用意されており、基本がしっかりおさえられた設計であると感じます。また、保育室は、両側のガラスや高い天井により透明感にあふれており、中の活動が外へと穏やかに伝わる建築になっているように思いました。

設計／竹中工務店
施工／竹中工務店

建築位置／大阪府大阪狭山市
竣工年月／2019年3月
用途／認定こども園
構造・規模／S造 2階
敷地面積／4,111.99㎡
建築面積／1,348.28㎡
延床面積／1,981.22㎡
写真／古川泰造

●目的

公益社団法人大阪府建築士会では会報誌「建築人」を毎月発行しており、二〇二〇年四月には第六七〇号を数えました。本会の会員にとって重要な情報提供を行うとともに、建築作品発表の機会を設け、建築技術の普及や会員の相互研鑽に寄与することを目指しています。

「建築人賞」は「建築人」のGALLERY頁に掲載された全作品の中から特に機能性、社会性、デザイン性、先進性などにおいて優れたものを顕彰することで、建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的とし、「建築人」のプレゼンスをより高めていくことを意図して創設された賞です。

●審査経過

審査は公平性を重視するため、主に関西以外を拠点として活躍する建築関係者、学識経験者をお願いしています。第一回からは横浜国立大学大学院教授の乾久美子氏を審査委員長としてお迎えしました。

今回の審査は二〇一九年に掲載された作品三二点が対象となりました。一次審査は誌面より一般・住宅部門を合わせて計五作品を選出、その後、設計者から追加で提出された詳細資料をもとに二次審査を行い、最終的に建築人賞二点、奨励賞二点、佳作一点が選出されました。

入選作品は、いずれもその機能性、デザイン性、社会性などが高く評価されたものですが、これらを表彰し公表することによって、社会に対して建築の魅力や価値を発信し、建築文化の醸成に寄与できるものと考えています。また今後より多くの方に参加頂き、建築人賞が大阪から魅力ある建築情報を発信する動機として成長発展していくよう祈念しています。

建築情報部門長 飯田英二

実施要項及び経過

●対象作品

会報誌建築人二〇一九年一月号～二〇一九年十二月号「GALLERY」掲載作品三二点

●審査

第一次審査（三二点から五點選出）

第二次審査（五點選出）

●表彰式

中止

（新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が発せられたため行わない。）

●入賞作品

建築人賞

ふじしろ幼稚園 二〇一九年 八月号掲載

農人町の町家 二〇一九年 一月号掲載

建築人賞奨励賞

兵庫県林業会館 二〇一九年 四月号掲載

四畳半キューブの家 二〇一九年 一月号掲載

建築人賞佳作

大谷さやまこども園 二〇一九年 一〇月号掲載

建築人賞 設計者に賞状および記念盾を授与、

建築主・施工者に賞状を贈呈

建築人賞奨励賞 建築主・設計者・施工者に賞状を贈呈

建築人賞佳作 建築主・設計者・施工者に賞状を贈呈

会員
限定

建築士賠償責任 補償制度 (けんばい)

建築士会

改正建築士法、2015年6月25日施行 「設計業務等に関する損害賠償保険の契約締結の 努力義務化(第24条の9)」

2014年度より、「法令基準未達補償」および「構造基準未達補償」の2つの補償を追加し、「滅失・破損」が発生しない場合でも一定の基準を満たさなかったために生じる損害賠償責任に対応できるように改定いたしました。

さらに、2016年度からは、耐震診断等の建物調査の遂行に起因して発生した対人・対物事故を補償する「建物調査遂行中の賠償責任補償」を、オプションとして追加しています。

設計・監理業務等に起因する 損害賠償責任	滅失・破損 あり		↑ 2013年度までの けんばい ↓	↑ 本年度の 標準セットプラン ↓
	滅失・破損 なし	建築設備が著しく本来の機能を発揮できない場合の補償 (給排水衛生設備、電気設備、空気調和設備、住宅の遮音性能)		
		法令基準未達補償	2014年改定	
		構造基準未達補償	2014年改定	オプション
	建物調査遂行中の賠償責任補償			2016年改定

●法令基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「所定の建築基準関連法令における基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

●構造基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「建築基準法第20条1、2、3号建築物」について、「建築基準法第20条に規定する構造基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

●建物調査遂行中の賠償責任補償

耐震診断等の建物調査業務の遂行に起因して発生した対人・対物事故について、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。
ただし、建物調査業務の結果により発生した事故は補償の対象外となります。

ご加入はWebで

公益社団法人日本建築士会連合会
のホームページ

保険制度

2019年度
けんばい

新規加入の方

このチラシは建築士賠償責任補償制度(けんばい)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。
詳細は保険約款によりますがご不明の点がありましたら、下記までご連絡ください。なお、保険の内容につきましては、取扱保険代理店よりご案内させていただきます。

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階
TEL:03-3456-3273 FAX:03-3456-2067
<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

取扱代理店 株式会社 エイアイシー

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル 2階
TEL: 03-6272-6206 FAX: 03-6272-6209

引受保険会社: (幹事) 東京海上日動火災保険株式会社・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・
三井住友海上火災保険株式会社

2019年3月作成
18-T09671

設計・監理業務等のリスクに備えた
建築士会会員のための補償制度

ユーザー対象の設計相談
住宅の設計者問い合わせ に対応する

登録者募集

(公社)大阪府建築士会 社会貢献部門 委員会

“住宅を設計する仲間達”

登録者の個人ページ・・・専用のホームページ内に作成可
建築士リスト・・・数カ所の機関に配架し、広報活動を展開
設計相談・設計例展示・・・大阪市立住まい情報センター等

専用ホームページ www.jutaku-nakama.com/
登録・問合せは (公社)大阪府建築士会 隅原まで
06-6947-1961 info@aba-osakafu.or.jp

住宅を設計する仲間達 建築士 リスト 2019-20

家づくりの

『住宅を
大阪府建
が得意な建築
あなたにピッタリ
お問い合わせください』

公益財団法人 大阪府建築士会
JUTAKU NAKAMA.COM

● トップページ

● 住宅を設計する仲間達とは

● 建築士に任せるメリット

● 具体的な流れ

● まんが ～家作りストーリー～

● 土地の選び方

● 住宅ローンについて

● 建築士を探す

建築士に任せるメリットは何?

お知らせ

- パネル展示&セミナー@住まい
セミナー 3月6日
- 「建築家とつくる」
- パネル展示
- 「建築家とつくる」
- パネル展示&セミ

ホームページの
抜粋版です

家づくりは、頼
の建築士を選びから。

住まいは百人百様、それぞれの家族の生活と個性に合った家づくりが大切だと考えます。家族各々がのびのびと心地よく暮らせる家、光や風、自然の恵みを十分に感じられる家、いつまでも新鮮で飽きのこない家、安全で安心して暮らせる家、などをテーマに楽しい家づくりを心がけています。

都市の中でも光と風の通る健康的な家づくりをしたい。設備は最小限、空間は最大限をモットーにしています。家を作ることは、人生の中でそんなにあることではない大きな創造物をつくること。子育てといっしょでおおらかに、かつ真剣に取り組む長い年月かけて上手に育てていく事のできる様な住宅創りを考えています。



理事会報告

令和二年度役員名簿

役員48名（理事46名・監事2名）

会長

岡本森廣 全日本コンサルタント（株）技術部調査役
副会長

上田茂久 （株）上田茂久建築設計工房代表取締役

濱田徹 （株）イリア関西事務所長

田中義久 （株）田中都市建築事務所代表取締役

石嶋節子 京都大学大学院人間・環境学研究科教授

理事 事（*は部門長・常任理事）
相原康隆 栗原工業（株）人事総務部総務課兼技術統括部技術部課長

*飯田英二 （株）IMOデザイン代表取締役

岩岸克浩 （株）イワギン取締役

大附一彦 新建設工業（株）代表取締役

*岡崎雅 （株）アーキプランニング・オフィス代表取締役

規工川和史 規工川建設（株）代表取締役

北野幹夫 日本E&R（株）大阪支店確認部主査

熊田将男 （株）安井建築設計事務所工事監理部長

黒川宗範 （株）大林組大阪本店建築事業部プロジェクト設計部長

河野学 関西学院大学総合政策学部契約助手

佐賀弥章 佐賀建築まち設計室代表

*仙入洋 （株）遊墨設計代表

曾我部千鶴美 With建築工房 二級建築士事務所代表

高原浩之 （株）ITAデザイン事務所代表取締役

竹田敦子 （株）竹田建築事務所

*田中克之 Atelier A.T. 二級建築士事務所所長

田端寿美 TUBE代表

辻井光憲 大和ハウス工業（株）建築設計部課長

津村泰夫 二級建築士事務所住環境設計代表

徳岡浩二 （株）徳岡設計代表取締役社長

所千夏 アトリエCK代表

永井務 （株）竹中工務店設計部設計第4部門設計グループ長

中島薫 ナカジメ建設（株）代表取締役

*西野智子 ZERON（株）二級建築士事務所代表

沼田亘 （株）昭和設計代表取締役会長

*原田雅史 （株）富士建築設計事務所代表取締役

春岡須磨子 春設計室室長

平井浩之 大成建設（株）関西支店設計部長

藤江雅文 （株）藤江建築事務所代表取締役

藤田忍 大阪市大学豊稔・大阪市大学大学院生活科学研究科教授

水谷取 （株）Ms代表取締役

南勝喜 NAM設計研究所代表

三宅登美恵 （株）登工務店代表取締役

山添光訓 大阪府住宅まちづくり部建築指導室長

山城健児 コナン建設（株）取締役常務執行役員営業本部長

*横田友行 （株）能勢建築構造研究所代表取締役社長

吉村淳二 清水建設（株）関西支店建築設計2部副部長

*芳村隆史 （株）碧一A.O.建築事務所代表取締役

専務理事

杉原繁 （公社）大阪府建築士会専務理事

監事

尾鍋裕実 尾鍋建築設計事務所所長

立神靖久 東大阪市建築部建築指導室長

建築相談室から五十

相談が集中する日

文 橋本頼幸

毎年五月号の建築人では前年度の建築相談室の活動をまとめています。二〇一九年度は一日平均三三三件の相談がありました。今回は相談が集中する日とその相談内容についてまとめてみたいと思います。

先月号にも書きましたが、一日の電話件数は三件が最も多く年間実施日数が三四日のうち七十七日・約一／三ありました。また、一日八件以上の相談があった日が五日ありました。最高で十件の相談を受けており、十月二十五日（金）と二十十日（月）でした。十月二十五日から土日を挟んだ翌相談日の二十八日（月）には九件の相談がありました。さらに、一日八件の相談日は、十一月十二日（火）と十四日（木）と近接した二日でした。ちなみに、間の十三日（金）は、相談件数は四件でした。一日相談件数が十件だったもう一日の二十十日（月）は、前の相談日は土日を挟んだ二月七日（金）、次の相談日は二月十一日が祝日なので十二日（火）となり、休日に挟まれています。二月十日が十件だったのに対して、前相談日の七日が二件、次の相談日の十二日が一件と極端に少なくなっています。

相談時間

建築士会の電話相談は午後一時から四時までの三時間で行っています。話の長い相談者だと三十分を超えることも多く、一時間近く電話口で話をされる相談者もいます。また、相談担当者は、その場で相談記録も作成しないといけませんので、一件の相談に電話と記録作成を合わせて三十分かかると、三時間で六件の相談があると途切れなく電話対応していることになり、かなり忙しい感じがします。例えば十

月二十五日は、午後一時七分に最初の電話がかかってから、十件目の相談が十五時四十八分にかかってくるまでほぼ途切れることなくかかっています。最後の相談が終わったのが十六時十五分です。そこから記録作成していたとすると十六時半は超えてしまうことになります。

二月十日はおそらく忙しくて相談時間の記載ができなかったのかもしれませんが、終わった時間は十七時二十五分と記載がありました。十六時に電話相談が終わっているのに記録をまとめるのに二時間以上の時間を要したことがうかがえます。

他の八件・九件あった相談日も相談記録には、電話が終わったのが十六時十五分を過ぎていたことが書かれています。建築相談専用電話は十六時を過ぎると自動的に着信できなくなるため、相談者は十六時までに電話をかけてこなければなりません。電話相談としては平均一件二十分以上相談していることになります。

相談内容

十月二十五日の相談内容を分析してみると、相談時間は一件あたり十〜二十分程度、最初の一件が施工者からの相談でしたが残り九件が一般の消費者からの相談でした。市役所や消費者センターから紹介された相談が三件、過去に建築相談に電話や現地相談を受けたリピーターが二件ありました。この日は少し変わった相談が多く、電気配線や埋設水道管に対する問い合わせや、雨漏れの調査と家全体の調査をお願いしたいが一時間五千円と聞いた、屋根の修繕を自分でしたいがどうしたらいいか、地下の漏水を調査する会社を紹介してほしい、できれば無料でお願いしたい、など。十月二十八日（九件）の相談の中にも、市役所からの紹介が多く、時期的な偏りがあったのかもしれませんが。

編集後記

笠井志保

緊急事態宣言が発令されてから約一か月が経ちました。私にとっては、仕事の仕方や生活の仕方が大きく変わった一か月でした。在宅勤務や時差出勤など、働き方改革でなかなか進まなかったことが一気に進み、今ではテレビ会議が当たり前となってきたように思います。さらに先日、緊急事態宣言が五月末までに延長され、この生活が続くのかと、先の見えない不安ばかりが募ります。ですが、いつもと違う生活をする中で、時間の流れがゆるやかに感じ、人のやさしさに触れる機会が増えたように感じます。早期収束にむけ、今はステイホームでできることを楽しもうと思います。

また、多くの人が我慢を強いられている中、建築で何ができるのか？未来のために何をしなければならぬのか？を再度考え直すチャンスだと思っています。坂茂氏の紙管の間仕切りが、インターネットカフェ住民のための仮住まいとして、活躍しているとニュースで見ました。建築だからこそできる何かを模索していきたいです。

最後になりましたが、皆様の健康をお祈りしております。

建築人 6 2020

監修	公益社団法人大阪府建築士会	
	建築情報部門	
編集	建築情報部門『建築人』編集部	
	部門長	飯田英二（編集人代表）
編集人	委員長	高原浩之
	編集人	梅田武宏 笠井志保
事務局	印刷	河合哲夫 茂籠一之
		曾我部千鶴美 橋本頼幸
印刷	中和印刷紙器株式会社	牧野隆義 三谷勝章
		武藤優哉 若江直生
印刷	母倉政美	山本茂樹

UNION

ArtWare® in history. 時に磨かれて、未来へ。



1958年創業。以来、半世紀以上にわたりこの国を代表する建築家たちからの厚い信頼のもと
数々の名建築を象徴する意匠として、採用されてきたユニオンのアートウェア。

今回のカタログでは、時を経て味わいを増し、今もなお、現役で活躍するドアハンドルの名品をシリーズでご紹介します。

建築家・村野藤吾氏によるドアハンドル | 日生劇場 1961年



最新カタログ『アーキズムシリーズ』カタログ請求は www.artunion.co.jp よりお申し込みください。

本社:〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 東京支店:〒135-0021 東京都江東区白河2-9-5 tel 03-3630-2811 fax 03-3630-2816 大阪支店:〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-3731 fax 06-6533-2293 名古屋営業所:〒454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20 tel 052-363-5221 fax 052-363-5255 www.artunion.co.jp



大阪北NKビル(ホテルヴィスキオ大阪) 竹中工務店

「森の寛ぎ」空間を創出

400 室をもつ宿泊主体型のホテルの計画敷地の北隣地に庭園が隣接している。さらに周辺は梅田北地区の再開発により街路樹や民間敷地内の庭園など、緑の広がりが形成され、大阪・梅田駅から徒歩圏内に立地する都心でありながらも、自然のおおらかさが同時に存在している。そんな場所で建築・インテリア共に自然的なモチーフを取り入れ内外の繋がりを感ずることができる空間を創出した。

どこにいても外との繋がりを感ずられる空間づくりをするため、庭園の緑を保持し、借景としながら緑を内部まで引込むことで森の中にいるような寛ぎの空間を演出した。共用部空間では常に庭園と視線が繋がりながら自然光が降り注ぐトップライトとルーバー天井を組み合わせることで、森の中にいるような空間を創出した。

建物の全周を覆っている室外機等が組み込まれたバルコニーは、ルーバーの組み合わせにより自然の陰影を表現しながら、奥行き寸法に操作を加えることでおおらかさを都市風景に演出している。

一貫して自然的な要素を内外部に渡り昇華させることで建築全体が通奏低音のように調和しながら佇む空気感をつくりだす。

撮影：母倉知樹 第39回大阪都市景観建築賞建築サイン・アート賞受賞作品

■プロフィール

鈴木 雅史（すずき・まさし）
2003年 早稲田大学大学院卒業後
株式会社竹中工務店に入社
現在 同社設計部門課長

沢田 拓郎（さわだ・たくろう）
2015年 日本大学大学院卒業後
株式会社竹中工務店に入社
現在 同社設計部門

■建物データ

設計：株式会社竹中工務店
施工：株式会社竹中工務店
所在地：大阪市北区芝田2丁目4番10号
用途：ホテル
建築主：JR西日本不動産開発株式会社
敷地面積：3,201㎡
建築面積：2,247㎡
延床面積：13,762㎡
構造規模：S造、地上8階
工期：2017年3月～2018年4月
(基本計画・設計監修・監理：安井建築設計事務所)

